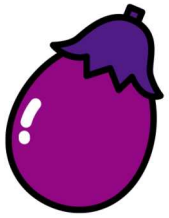
ナスビの学校



中学校での学びをふりかえる

社会と学校を行き来する学び方

E級教室前を通りかかると、そこには1枚のポスターが掲示してあります。E級の生徒たちが取り組んだ職場体験学習がまとめてあるポスターでした。

問いに向き合う職場体験

チーム「ハートフル2E」の生徒たちが職場体験学習に取り組み、そこから得た学びをまとめたポスターがE級教室前に掲示しています。このポスターは、生徒たちが学校を離れ、職場（社会）へと勇気を出して飛び込んだからこそ得られた学びで埋め尽くされています。

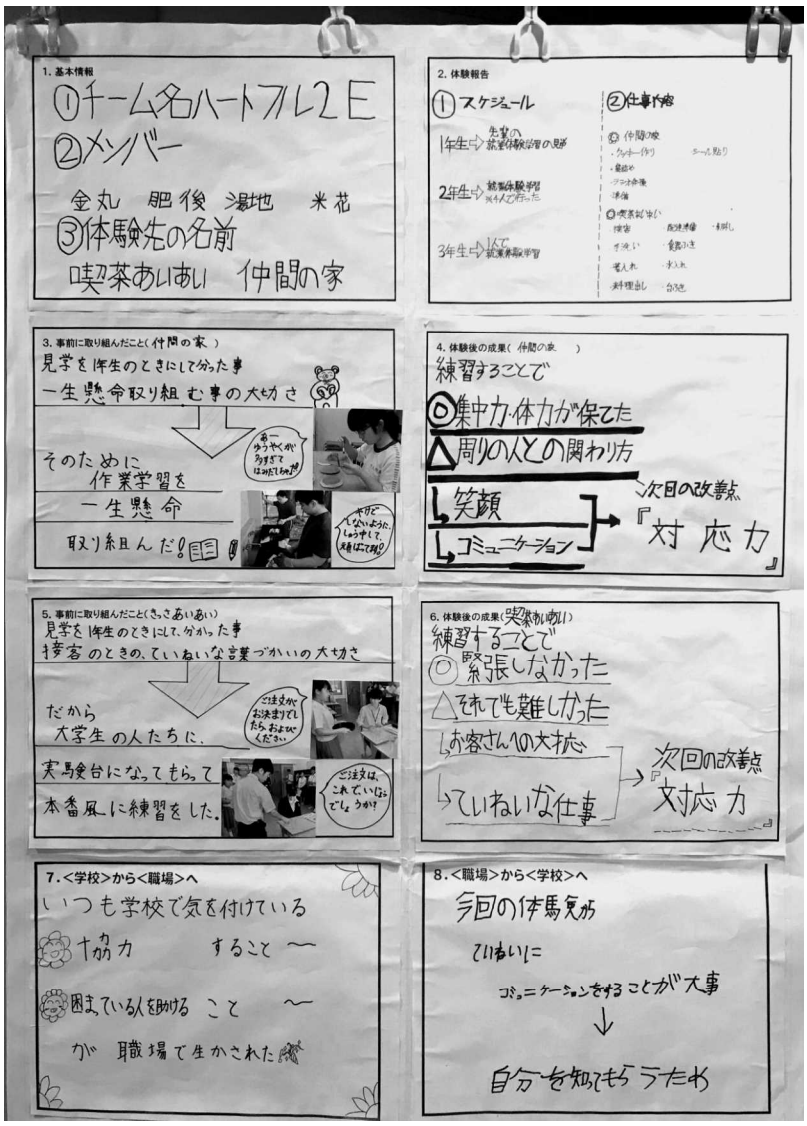
生徒たちの学びは、職場体験前から始まっていました。「事前学習」として、学校での授業や活動に一生懸命取り組んだり、大学生に協力してもらい、リハーサルを行ったりしています。ここで注目したいのは「学校の授業に一生懸命取り組むこと」が職場体験学習の〝準備〟になっているという点です。ここには「学校は学校、職場は職場」という〝二分法〟ではなく、学校で学んだことを職場でも生かしていきたいという生徒たちの想い、E級の先生たちの熱意があります。みなさんは毎日の授業をどのように捉えていますか？社会に飛び込むための準備として捉えるというヒントがここにはあります。

実際に職場体験をしたあとは「ふりかえり」です。ここにも注目したい点があります。それは「できたこと」を見つめることはもちろん、「次回の改善点」を考え、可視化しているところです。職場体験学習に限らず、様々な行事を経験したあとには「できたこと」に注目しがちです。しかし、E級では「できたこと」を大切にしながらも、職場体験を通して見えてきた「課題」にもしっかりと光を当てています。この「新たな課題」があるからこそ、次の学習へのモチベーションも高まっていくのでしょう。

ポスターの最後には、「職場から学校へ」というコーナーがあり、職場体験で学習したことを、学校生活にどう活かしていくのか、その決意が綴られています。「ていねいにコミュニケーションすることで、自分を知ってもらうこと」が生徒たちの指針となります。

E級の生徒たちは、職場体験学習を通して、実に様々な問いと向き合っています。これらの問いは、「あなたはこれまで何をしてきましたか？そして、これからどう生きていきますか？」という、キャリアを考える問いへと集約されていきます。

たくさんの問いと向き合い続けるE級の生徒たちの成長から目が離せません。同時に、E級の取組から学んでいきたいものです。まずは、E級教室に行き、このポスターをじっくりと見ることから始めませんか？



変わる就活

「STAR面接」という言葉をご存じですか？最近の就職活動（採用・人材育成）で注目されている言葉です。

これは、Situation（状況）Task（課題・役割）Action（行動）Result（結果）の頭文字をとった言葉です。面接では、次のような質問が投げかけられます。「あなたは、どんな状況で、どんな役割を担い、どんな課題を解決するために、どんな行動をとってきましたか？そこからどんな成果を出し、どんなことを学んできましたか？」

今、みなさんがこの質問を投げかけられたとしたら、どんな答えが出せるでしょうか。

そして、気がつきましたか？「STAR面接」の内容が「ナスビの売り方づくり」とそっくりなことに…。